

今、世界で起きていることに関心を！！

貧困と闘い、平和を築く。

ローマ法王ベネディクト 16 世は今年の「世界平和の日」（1 月 1 日）にあたって「貧困と闘い、平和を築く」というテーマのメッセージを全世界に向けて出されました。世界の現状に目を向け、経済不況や環境問題、貧困、戦争や紛争など、今、世界が直面しているさまざまな問題とその原因を明らかにされました。そして、そのような現実から目を背けず、世界中の人々が一致団結して問題解決にあたらなければならないことを呼びかけられました。解決策は「まことの愛」であり、「あなたがたが与えなさい」というイエスの言葉に従うことであると指摘されました。

行橋教会（小教区）は教会作りの目標である今年の年間テーマを、この教皇さまの年頭メッセージのテーマ「貧困と闘い、平和を築く」にしています。「与える」ことによって貧困と闘い、平和を築いていくのです。

最新技術を友情のために…。

5 月 17 日（日）は「第 43 回世界広報の日」ですが、この日の教皇メッセージのテーマは「新たな技術、新たな関係。尊敬、対話、友情に基づく文化の促進」です。現代のメディア、コミュニケーションの手段である最新技術のデジタル世界は人と人を結びつける重要な役割を果たしています。教皇はいいます。「神は人類すべてを一つの家族とすることを

望んでおられます。わたしたちが相手に引きつけられたり、相手のことをもっと知りたいと望んだり、自らのことを知らせたいと思ったりするときが、神の呼びかけにこたえているときです。その呼びかけは、わたしたち人間の本性に刻み込まれています。人間はコミュニケーションであり、交わりである神の似姿として造られているからです。」

「愛することはまさに創造主によってわたしたちに計画されたものです。もちろん、つかの間の浅い関係のことではなく、イエス・キリストの倫理的教えの真髄にある真実の愛のことをいっているのです。《心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。》そして《隣人を自

分のように愛しなさい。》

このみことばに照らして最新技術の重要性を考えてみると、人々の交流を促すその確かな力だけでなく、それらの手段を使って配信される内容の質に注目することも大切なことが分かります。新たに生まれたデジタル通信環境を活用する善意ある人すべてに対し、尊敬と対話と友情に基づく文化の促進に努めるようにお願いします。」

5 月 17 日（日）に開かれる《ミンダナオデー》は以上の二つの教皇メッセージを実行するものです。ミンダナオの貧しい子どもたちに「与え」、大映像を使って行われるコンサートで「今の世界」を見つめるのです。



松居友さんと桑山紀彦が来られます

松居友さんと桑山紀彦さんが5月17日(日)の《ミンダナオデイ》に参加されます。

松居友さんは、フィリピン・ミンダナオ島で現地の貧しい子どもたちのために働いておられます。行橋教会(小教区)も行橋カトリック幼稚園もミンダナオの子どもたちの自立を支援しています。



行橋教会の創立50周年の前の年に松居さんとの出会いがあり、50周年(2005年)を機会に広く世界に目を向けて「わたしたちにできること」を始めました。その頃からミンダナオ子ども図書館とボリビアの子どもたちを支援しています。その支援活動から行橋教会に《ミンダナオ支援「Mの会」》というボランティア・グループが生まれ、今年から活動を始めました。17日(日)に行われる《ミンダナオデイ》は「Mの会」の主催で、教会と幼稚園が共催してミンダナオ支援のバザーをします。

桑山紀彦さんは山形在住の精神科医。これまで56カ国を歩き、災害や紛争で心の傷を負った人々への心のケアを中心に海外支援活動を続けておられます。最近では空爆下のガザ地区に赴き医療活動を支援され、その様子はNHKはじめ多くの放送局によって報道されました。その後もヨルダンや大地震があった中国の四川省に行かれ、とくに心身ともに

何かをするかしないか、何かを変えるか変えないか、ということの理由は、愛そのものでなければならないのです。愛はすべての行動の理由であり、その目標であるべきです。

傷ついている子どもたちの治療にあたっておられます。今回の行橋でのコンサート《地球のステージ》直後には東チモールに飛ばれます。桑山さんとは10年ほど前に出会い、二日市教会の聖堂でも《地球のステージ》をしていただきました。カトリックの方ではありませんが、その時の印象が強く、ぜひまた《聖堂で》メッセージを伝えたいと言っておられました。その思いがこの度実現するわけです。真のボランティアとはどういうことかを考えるいい機会だと思います。

今回行われる《ミンダナオデイ》は単なるバザーやコンサートとは違います。神さまが望まれることをキリスト者として行動に移すまたとない機会にもなります。先に紹介した現教皇さまの呼びかけにも応えるものです。



子どもたち、中高生も集まろう！

これからの時代を担う子どもたちや若者にとってもいい機会です。ぜひ行橋教会での9時の《世界の平和を祈るミサ》、バザー、コンサートに参加して平和のために行動する一日にさせていただきたいと思います。そのためにもご家族の皆さんのご理解とご協力を！松居さんも桑山さんもミサに参加されます。

神さまからの呼びかけ…

10日と17日のミサで読まれるみ言葉は神さまからの呼びかけそのものです。《子どもたちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう》《わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。…あなたがたのこころは喜びに満たされる》

《ヨハネ・パウロ2世》